

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 市民活力推進部		
	節	1	生涯にわたり楽しく学べる環境づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心を持ち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にすまちとなっています。	基本目標	市民一人ひとりが楽しく学び、その成果が活用されることにより、更に学習意欲が高まり、生涯にわたり学習しています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 生涯学習人財バンク登録者数	43人	—	—	—	—	55人	—	—	—	—	65人
	—	50人	54人	60人	62人						
② 市民活動支援コーナー利用者数	7,444人	—	—	—	—	8,000人	—	—	—	—	8,500人
	—	9,326人	9,345人	9,406人	8,918人						
③	—	—	—	—	—						
	—										
④	—	—	—	—	—						
	—										
⑤	—	—	—	—	—						
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 生涯学習機会の充実	50,818	1	0	1	0	市民協働推進課
2 学習成果の活用	247	1	0	1	0	市民協働推進課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	51,065	2	0	2	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	1	生涯にわたり楽しく学べる環境づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	(1)生涯学習機会の充実：多様化する市民の学習ニーズに対応し、市民一人ひとりが生涯にわたり楽しく学べるよう学習機会の提供を充実する。 (2)情報提供・相談体制の充実：市民の主体的な学習活動を支援するため、生涯学習に関する情報提供や相談機能を充実する。 (3)学習成果の活用：生涯学習に取り組む事によって得た知識や技術を活かすため、「生涯学習人財バンク」の充実を図るとともに、指導者としての活用を進め、学習成果の発表の機会を拡充する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	(1)令和元年度のやしお生涯学習館の利用者数は、71,265人で多くの市民に利用されている。また、安全で安心して学習機会を提供できるよう修繕を実施した。 (2)情報提供や相談体制の充実を図ることで、令和元年度の市民活動支援コーナーの利用者数は8,918人であった。 (3)「生涯学習人財バンク」を活用して、様々な講座を実施した。また、その成果発表の場として、実行委員会と協働でやしおコラボフェスタを開催した。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	・やしお生涯学習館は、開館から24年が経過し、施設の老朽化が顕著となっているため、計画的な改修等が必要である。 ・やしおコラボフェスタは、参加団体が固定化しつつあるため新たな参加者の発掘が課題となっている。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	人財バンクの登録者や市民活動支援コーナーの利用者数も目標値を達成している。開館から24年が経過しているが、定期的な施設改修を実施し市民が安心して利用できる場を提供している。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進				
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他				
	(説明) やしお生涯学習館は、生涯学習や市民活動の拠点施設として、市民ニーズを的確に捉え、人財バンクを利用した各種講座やイベントを開催していく。安全に安心して利用していただけるように計画的な施設改修を進める。				
■重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード	施策の内容		事務事業	
	章	節	施策		
1	01	01	01	生涯学習機会の充実	やしお生涯学習館運営事業
2					
3					
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）
☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 企画財政部	教育総務部
	節	2	次代を担う人づくり		学校教育部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心を持ち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にすまちとなっています。	基本目標	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の連携が強化されるとともに、小中一貫教育が一層推進される中で、きめ細やかな教育が行われ、家庭・学校・地域が一体となって、子どもたちが健全に成長できる環境を整えています。また、子どもたちは等しく教育を受ける機会を得ており、安全で安心な教育環境のもと豊かな学校生活の中で「確かな学力」「生きる力」を身に付けています。
-------------------------	---	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 全国学力学習状況調査の平均正答率の全国との差	小学校 △4.6P 中学校 △7.0P	—	—	—	—	小学校 ±0P 中学校 ±0P	—	—	—	—	小学校 +5P 中学校 +2P
	—	小△4.6 中△6.6	小△3.1 中△5.1	小△3.1 中△5.1	小△1.7 中△6.3						
② 不登校児童生徒発生率	小学校 0.31% 中学校 2.70%	—	—	—	—	小学校0.2%以下 中学校2.1%以下	—	—	—	—	小学校0.1%以下 中学校2.0%以下
	—	小0.37 中2.55	小0.58 中3.93	小0.49 中3.97	小0.33 中3.52						
③ 学校給食における残食率	小学校3.8% 中学校13.4%	—	—	—	—	小学校2.0% 中学校8.0%	—	—	—	—	小学校1.5% 中学校7.0%
	—	3.8%	2.0%	9.7%	小7.9% 中10.2%						
④ 特別支援教育介助員	市内小学校に9人 配置	—	—	—	—	市内全小中学校 に15人配置	—	—	—	—	市内全小中学校 に20人配置
	—		15人	13人	14人						
⑤		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 教育内容の充実	24,275	3	2	1	0	指導課、小中一貫教育推進室
2 教育環境の充実	541,743	13	3	10	0	教育総務課
3 指導体制の充実	76,605	7	7	0	0	教育総務課、学務課、指導課
4 食育、健康・安全教育の充実	683,965	6	4	2	0	学務課、指導課
5 特別支援教育の充実	12,824	1	0	1	0	指導課
6 教育相談の充実	27,483	2	0	2	0	指導課
7 家庭や地域と一体となった教育体制の充実	13,897	2	2	0	0	学務課、指導課
8 幼児教育の推進	282,919	3	3	0	0	教育総務課、指導課
9 高等教育機関との連携・誘致	0	1	0	0	1	企画経営課
計	1,663,711	38	21	16	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	企画財政部
	節	2	次代を担う人づくり	評価者名	前田 秀明
評価主体が推進する施策の概要	高等教育機関との連携・誘致 ・生涯学習の推進やグローバルな人材の育成、教育環境の充実のため、大学等の高等教育機関の連携を図るとともに、誘致活動を推進する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	平成26年7月4日に、聖徳大学・聖徳大学短期大学部と包括的連携に関する協定を締結した。 平成29年3月28日に、国士舘大学と包括的連携に関する協定を締結した。 平成29年6月21日に、淑徳大学と包括的連携に関する協定を締結した。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input checked="" type="checkbox"/> 大きな課題がある
	高等教育機関の誘致については、人口動態や社会情勢等の影響により、高等教育機関として新たなキャンパスを新設することが困難な状況にあり、また、用地や物件の確保に課題がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	具体的に高等教育機関の誘致には至ってないが、包括的連携に関する協定を締結している大学を中心に「八潮こども夢大学」や「八潮こども防災マイスター」等の連携事業を実施しているため、概ね順調と評価した。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進	<input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充)			<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> その他
施策の展開方針	(説明)				
	引き続き包括的連携に関する協定を締結している大学を中心に連携事業を実施しながら、高等教育機関の誘致に向けて、高等教育機関との連携を強化していく。				
■重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード		施策の内容	事務事業	
	章	節			施策
1	01	02	09	高等教育機関との連携・誘致	高等教育機関誘致促進事業
2					
3					
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R1年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R1年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
	01	02	01	教育指導推進事業		■	■	学校教育部	指導課	15,082	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	01	02	01	体験学習推進事業				学校教育部	指導課	5,869	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	01	02	01	小中一貫教育推進事業	■	■	■	学校教育部	小中一貫教育推進室	3,324	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	入学準備金・教育資金貸付事業				教育総務部	教育総務課	5,849	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
	01	02	02	小学校管理事業				教育総務部	教育総務課	193,140	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	中学校管理事業				教育総務部	教育総務課	112,820	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	小学校施設整備事業	■			教育総務部	教育総務課	20,046	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	中学校施設整備事業	■			教育総務部	教育総務課	17,030	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	小学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	94,836	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	中学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	57,145	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	小学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	14,540	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	01	02	02	中学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	18,879	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
	01	02	02	高等教育振興事業				教育総務部	教育総務課	16	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	学校建設基金事業				教育総務部	教育総務課	293	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	小学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	0	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	中学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	7,150	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	小学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	1,417	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	中学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	3,081	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	教職員人事管理事業			■	学校教育部	学務課	2,832	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	教職員資質向上事業	■		■	学校教育部	指導課	4,203	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	少人数指導充実事業			■	学校教育部	指導課	33,653	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	地域人材活用推進事業		■	■	学校教育部	指導課	2,994	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
	01	02	03	語学指導充実事業			■	学校教育部	指導課	28,426	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
	01	02	04	学校保健事業				学校教育部	学務課	34,273	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	01	02	04	学校給食費援助事業				学校教育部	学務課	30,529	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	04	医療費援助事業				学校教育部	学務課	364	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	01	02	04	学校給食・食育推進事業				学校教育部	学務課	618,483	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	04	学校安全教育推進事業				学校教育部	指導課	263	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	04	健康教育推進事業			■	学校教育部	指導課	53	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	05	特別支援教育推進事業	■		■	学校教育部	指導課	12,824	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	01	02	06	教育相談体制整備事業	■			学校教育部	指導課	15,776	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
	01	02	06	教育相談所運営事業	■			学校教育部	指導課	11,708	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
										0部の事業費計					

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	●教育総務部	企画財政部
	節	2	次代を担う人づくり		学校教育部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心を持ち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にすまちとなっています。	基本目標	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の連携が強化されるとともに、小中一貫教育が一層推進される中で、きめ細やかな教育が行われ、家庭・学校・地域が一体となって、子どもたちが健全に成長できる環境を整えています。また、子どもたちは等しく教育を受ける機会を得ており、安全で安心な教育環境のもと豊かな学校生活の中で「確かな学力」「生きる力」を身に付けています。
-------------------------	---	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 全国学力学習状況調査の平均正答率の全国との差	小学校 △4.6P 中学校 △7.0P	—	—	—	—	小学校 ±0P 中学校 ±0P	—	—	—	—	小学校 +5P 中学校 +2P
	—	小△4.6 中△6.6	小△3.1 中△5.1	小△3.1 中△5.1	小△1.7 中△6.3						
② 不登校児童生徒発生率	小学校 0.31% 中学校 2.70%	—	—	—	—	小学校0.2%以下 中学校2.1%以下	—	—	—	—	小学校0.1%以下 中学校2.0%以下
	—	小0.37 中2.55	小0.58 中3.93	小0.49 中3.97	小0.33 中3.52						
③ 学校給食における残食率	小学校3.8% 中学校13.4%	—	—	—	—	小学校2.0% 中学校8.0%	—	—	—	—	小学校1.5% 中学校7.0%
	—	3.8%	2.0%	9.7%	小7.9% 中10.2%						
④ 特別支援教育介助員	市内小学校に9人配置	—	—	—	—	市内全小中学校に15人配置	—	—	—	—	市内全小中学校に20人配置
	—		15人	13人	14人						
⑤		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 教育内容の充実	24,275	3	2	1	0	指導課、小中一貫教育推進室
2 教育環境の充実	541,743	13	3	10	0	教育総務課
3 指導体制の充実	76,605	7	7	0	0	教育総務課、学務課、指導課
4 食育、健康・安全教育の充実	683,965	6	4	2	0	学務課、指導課
5 特別支援教育の充実	12,824	1	0	1	0	指導課
6 教育相談の充実	27,483	2	0	2	0	指導課
7 家庭や地域と一体となった教育体制の充実	13,897	2	2	0	0	学務課、指導課
8 幼児教育の推進	282,919	3	3	0	0	教育総務課、指導課
9 高等教育機関との連携・誘致	0	1	0	0	1	企画経営課
計	1,663,711	38	21	16	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	教育総務部
	節	2	次代を担う人づくり	評価者名	荒浪淳
評価主体が推進する施策の概要	<p>教育環境の充実では、児童生徒が一日の大半を過ごす学校施設の安全確保と機能整備に努め、教育環境の充実を図る。 また、経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者及び特別支援教育を受けている児童生徒の保護者に学用品費等を援助し、義務教育の円滑な遂行を図る。 幼児教育の推進においては、幼稚園児を持つ保護者の経済的な負担を軽減するため、幼稚園を通じて保護者の保育料の一部を助成する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>教育環境の充実では、小中学校15校の校舎空調設備導入調査を実施し、小中学校空調設備基本方針を策定した。また、老朽化した小・中学校校舎等の修繕を実施するとともに、駅周辺の生徒数の増加に対応するため、潮止中学校の普通教室増築工事を実施した。 経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、就学費用の一部を援助している。 幼児教育の推進においては、幼稚園を通して保護者に保育料等の一部を、幼稚園には幼児教育の充実を図るための経費の一部を助成している。</p>		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>教育環境の充実では、小・中学校校舎等の学校施設の改善に膨大な費用がかかるため、その財源の確保が課題である。 また、就学援助費における新小学1年生の保護者を対象とする新入学用品費の支給時期の課題について調査、研究している。 幼児教育の推進においては、障がいのある幼児に対する特別支援の充実が求められている。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	<p>教育環境の充実では、小・中学校校舎等の学校施設の改善について、老朽化している施設の把握を実施した。 幼児教育の推進では、幼稚園児を持つ保護者の経済的な負担の軽減及び幼稚園教職員の資質向上等に係る経費の一部助成を継続的に実施している。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進			
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>教育環境の充実では、小中学校15校に速やかに空調設備を設置し、早期に稼働する。また、老朽化した学校施設の整備を図るとともに、駅周辺の児童生徒数の増加に伴う対応を行っていく。 経済的な理由で就学が困難な児童生徒には、その保護者に対し就学費用の一部を援助し、義務教育の円滑な遂行に努める。 幼児教育の推進においては、今後も幼稚園児を持つ保護者の経済的な負担の軽減に努める。</p>			
	<p>重点化(拡充) 縮小 その他</p>			
■重点事業（部で5事業まで）				
	施策コード	施策の内容		事務事業
	章 節 施策			
1	01 02 02	教育環境の充実		小学校施設整備事業
2	01 02 02	教育環境の充実		中学校施設整備事業
3	01 02 02	教育環境の充実		中学校就学援助事業
4	01 02 02	教育環境の充実		小学校就学援助事業
5	01 02 02	教育環境の充実		中学校大規模改修事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R1年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R1年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
	01	02	01	教育指導推進事業		■	■	学校教育部	指導課	15,082	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	01	02	01	体験学習推進事業				学校教育部	指導課	5,869	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	01	02	01	小中一貫教育推進事業	■	■	■	学校教育部	小中一貫教育推進室	3,324	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	入学準備金・教育資金貸付事業				教育総務部	教育総務課	5,849	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
■	01	02	02	小学校管理事業				教育総務部	教育総務課	193,140	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	中学校管理事業				教育総務部	教育総務課	112,820	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	小学校施設整備事業	■			教育総務部	教育総務課	20,046	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	中学校施設整備事業	■			教育総務部	教育総務課	17,030	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	小学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	94,836	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	中学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	57,145	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	小学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	14,540	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	01	02	02	中学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	18,879	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
■	01	02	02	高等教育振興事業				教育総務部	教育総務課	16	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	学校建設基金事業				教育総務部	教育総務課	293	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	小学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	0	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	中学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	7,150	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	03	小学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	1,417	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	03	中学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	3,081	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	教職員人事管理事業			■	学校教育部	学務課	2,832	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	教職員資質向上事業	■		■	学校教育部	指導課	4,203	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	少人数指導充実事業			■	学校教育部	指導課	33,653	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	地域人材活用推進事業		■	■	学校教育部	指導課	2,994	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
	01	02	03	語学指導充実事業			■	学校教育部	指導課	28,426	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
	01	02	04	学校保健事業				学校教育部	学務課	34,273	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	01	02	04	学校給食費援助事業				学校教育部	学務課	30,529	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	04	医療費援助事業				学校教育部	学務課	364	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	01	02	04	学校給食・食育推進事業				学校教育部	学務課	618,483	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	04	学校安全教育推進事業				学校教育部	指導課	263	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	04	健康教育推進事業			■	学校教育部	指導課	53	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	05	特別支援教育推進事業	■		■	学校教育部	指導課	12,824	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	01	02	06	教育相談体制整備事業	■			学校教育部	指導課	15,776	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
	01	02	06	教育相談所運営事業	■			学校教育部	指導課	11,708	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
										829,129	部の事業費計				

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 学校教育部	企画財政部
	節	2	次代を担う人づくり		教育総務部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心を持ち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にすまちとなっています。	基本目標	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の連携が強化されるとともに、小中一貫教育が一層推進される中で、きめ細やかな教育が行われ、家庭・学校・地域が一体となって、子どもたちが健全に成長できる環境を整えています。また、子どもたちは等しく教育を受ける機会を得ており、安全で安心な教育環境のもと豊かな学校生活の中で「確かな学力」「生きる力」を身に付けています。
-------------------------	---	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 全国学力学習状況調査の平均正答率の全国との差	小学校 △4.6P 中学校 △7.0P	—	—	—	—	小学校 ±0P 中学校 ±0P	—	—	—	—	小学校 +5P 中学校 +2P
	—	小△4.6 中△6.6	小△3.1 中△5.1	小△3.1 中△5.1	小△1.7 中△6.3						
② 不登校児童生徒発生率	小学校 0.31% 中学校 2.70%	—	—	—	—	小学校0.2%以下 中学校2.1%以下	—	—	—	—	小学校0.1%以下 中学校2.0%以下
	—	小0.37 中2.55	小0.58 中3.93	小0.49 中3.97	小0.33 中3.52						
③ 学校給食における残食率	小学校3.8% 中学校13.4%	—	—	—	—	小学校2.0% 中学校8.0%	—	—	—	—	小学校1.5% 中学校7.0%
	—	3.8%	2.0%	9.7%	小7.9% 中10.2%						
④ 特別支援教育介助員	市内小学校に9人 配置	—	—	—	—	市内全小中学校 に15人配置	—	—	—	—	市内全小中学校 に20人配置
	—		15人	13人	14人						
⑤		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 教育内容の充実	24,275	3	2	1	0	指導課、小中一貫教育推進室
2 教育環境の充実	541,743	13	3	10	0	教育総務課
3 指導体制の充実	76,605	7	7	0	0	教育総務課、学務課、指導課
4 食育、健康・安全教育の充実	683,965	6	4	2	0	学務課、指導課
5 特別支援教育の充実	12,824	1	0	1	0	指導課
6 教育相談の充実	27,483	2	0	2	0	指導課
7 家庭や地域と一体となった教育体制の充実	13,897	2	2	0	0	学務課、指導課
8 幼児教育の推進	282,919	3	3	0	0	教育総務課、指導課
9 高等教育機関との連携・誘致	0	1	0	0	1	企画経営課
計	1,663,711	38	21	16	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	学校教育部
	節	2	次代を担う人づくり	評価者名	井上正人
評価主体が推進する施策の概要	学校教育においては、幼稚園から中学校に至るまでの各時期に子どもたちの状況に対応しつつ、一貫した施策の展開を目指している。そのため、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校等の連携強化に努めるとともに、各学校において小中一貫教育の導入による連続性と系統性を生かした教育内容の充実に取り組み、地域に開かれた、特色と魅力のある学校づくりに努めている。さらに、きめ細かな学習指導や生徒指導の充実にも努めている。このほか、特別支援教育の充実を目指し、発達障がいを含めた多様な教育的ニーズに応えていくことに努めるとともに、児童生徒が健康で安全な生活を送るために、家庭・学校・地域が相互に連携を図り、保健指導や安全教育、学校給食を核とした食育等の健康教育の充実にも努めている。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明) ①幼児教育の推進では、幼保認定こども園小の連携を図った。②教育内容の充実では、土曜日実施の八潮こども夢大学、ジョイスタ、さらに学習塾との連携事業をスタートした。また、全小中学校で小中一貫教育の研究を行うとともに授業公開を実施した。③特別支援教育の充実では、発達障がいを含めた多様なニーズに対応するため就学支援、就学相談を行った。④健康・安全教育の充実では、学校給食を核とした食育等の健康教育を行った。⑤指導体制の充実では、少人数指導補助教員を配置し、きめ細かな指導に取り組んだ。⑥教育相談の充実では、教育相談所での適応指導教室の実施や不登校児童・生徒を生まない指導体制の充実を図った。		
	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
課題	①教育内容の充実では、基礎学力の定着と応用力・活用力の育成を図ることが求められており、家庭・保護者への協力を啓発して家庭学習の定着や学習意欲の向上を図る必要がある。 ②教育相談の充実では、不登校児童・生徒の減少を目指すとともに、不登校児童・生徒を生まないための総合的な自立支援対策学校訪問と不登校特別対策協議会の充実を目指す必要がある。 ③学校適正配置指針計画が策定され、計画的に実行していく。 ④教職員の働き方改革の推進 ⑤道徳、外国語教科への対応		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	成果目標に向けて様々な取組を始めており、順調に成果が上がっている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
施策の展開方針	(説明) ①幼児教育の推進では、幼・保・小連携連絡協議会の開催等により連携を図っていく。 ②教育内容の充実では、小中一貫教育において中学校ブロック毎の研究を充実させるとともに、保護者への周知を図る。 ③特別支援教育の充実では、学習障がい児等に対応するため、教職員の育成や助働員の活用を図っていく。 ④健康・安全教育の充実では、学校給食の充実を図るとともに、保護者や地域との連携のもと、児童・生徒の食に関する指導を一層推進していく。 ⑤指導体制の充実では、少人数指導補助教員を計画に基づき配置するなど、学力向上への指導体制の充実ときめ細かな指導を一層進めていく。 ⑥教育相談の充実では、教育相談所と小中学校との連携を一層密にした相談体制を築いていくとともに、適応指導教室（フレンドスクール）の充実を図っていく。 ⑦教職員の働き方改革の推進		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1	01 02 01	教育内容の充実	体験学習推進事業
2	01 02 01	教育内容の充実	小中一貫教育推進事業
3	01 02 04	食育、健康・安全教育の充実	学校給食・食育推進事業
4	01 02 05	特別支援教育の充実	特別支援教育推進事業
5	01 02 06	教育相談の充実	教育相談体制整備事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R1年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R1年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	01	02	01	教育指導推進事業		■	■	学校教育部	指導課	15,082	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
■	01	02	01	体験学習推進事業				学校教育部	指導課	5,869	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
■	01	02	01	小中一貫教育推進事業	■	■	■	学校教育部	小中一貫教育推進室	3,324	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	入学準備金・教育資金貸付事業				教育総務部	教育総務課	5,849	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
	01	02	02	小学校管理事業				教育総務部	教育総務課	193,140	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	中学校管理事業				教育総務部	教育総務課	112,820	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	小学校施設整備事業	■			教育総務部	教育総務課	20,046	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	中学校施設整備事業	■			教育総務部	教育総務課	17,030	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	小学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	94,836	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	中学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	57,145	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	小学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	14,540	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	01	02	02	中学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	18,879	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
	01	02	02	高等教育振興事業				教育総務部	教育総務課	16	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	学校建設基金事業				教育総務部	教育総務課	293	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	小学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	0	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	中学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	7,150	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	小学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	1,417	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	中学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	3,081	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	03	教職員人事管理事業			■	学校教育部	学務課	2,832	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	03	教職員資質向上事業	■		■	学校教育部	指導課	4,203	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	03	少人数指導充実事業			■	学校教育部	指導課	33,653	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	03	地域人材活用推進事業		■	■	学校教育部	指導課	2,994	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
■	01	02	03	語学指導充実事業			■	学校教育部	指導課	28,426	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
■	01	02	04	学校保健事業				学校教育部	学務課	34,273	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
■	01	02	04	学校給食費援助事業				学校教育部	学務課	30,529	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	04	医療費援助事業				学校教育部	学務課	364	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	01	02	04	学校給食・食育推進事業				学校教育部	学務課	618,483	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	04	学校安全教育推進事業				学校教育部	指導課	263	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	04	健康教育推進事業			■	学校教育部	指導課	53	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	05	特別支援教育推進事業	■		■	学校教育部	指導課	12,824	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	01	02	06	教育相談体制整備事業	■			学校教育部	指導課	15,776	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
■	01	02	06	教育相談所運営事業	■			学校教育部	指導課	11,708	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
										834,582	部の事業費計				

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	●教育総務部		
	節	3	心豊かな青少年を育む環境づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心を持ち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にすまちとなっています。	基本目標	家庭・学校・地域や青少年関係団体等が連携して、地域全体で心豊かな青少年を育てる環境をつくっています。
-------------------------	---	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① やしお子ども週末活動実施回数と参加者数	41回 5,424人	—	—	—	—	50回 6,500人	—	—	—	—	60回 7,800人
	—	36回 5,015人	38回 5,076人	33回 3,903人	32回 4,377人						
② ジュニアリーダー養成研修会修了者数（申込定数30名（毎日））	30人	—	—	—	—	30人	—	—	—	—	30人
	—	16人	22人	37人	26人						
③	—	—	—	—	—						
	—										
④	—	—	—	—	—						
	—										
⑤	—	—	—	—	—						
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 青少年育成体制の充実	2,816	2	2	0	0	社会教育課
2 青少年の社会参加の促進	956	1	1	0	0	社会教育課
3 青少年活動の推進	463	1	1	0	0	社会教育課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	4,235	4	4	0	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	教育総務部
	節	3	心豊かな青少年を育む環境づくり	評価者名	荒浪淳
評価主体が推進する施策の概要	青少年育成体制の充実を図るため、研修会等を通して、青少年活動の指導者及びリーダーを養成するとともに、関係団体の支援活動、団体間の連携強化を図り、青少年の健全な育成体制を整備する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>小学校高学年を対象に八潮市子ども会育成者連絡協議会等と連携し、ジュニアリーダー養成研修会やレクリエーション講習会を実施した。</p> <p>また、地域の教育力を活用した子どもたちの週末体験活動として、やしお子ども週末活動推進事業「やしお子ども土曜広場」を実施した。</p>		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<p>青少年が気軽に集い、そして世代間の交流ができる安全で安心な居場所のさらなる確保が課題である。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	<p>青少年育成八潮市民会議をはじめとする青少年育成関係団体等の各事業に多くの市民の参加があり、市民ぐるみで青少年の健全育成を推進することができた。</p>

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進			
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他			
	<p>(説明)</p> <p>本市の青少年教育は、八潮市青少年健全育成条例のもと、青少年育成関係者や団体との協働により進めており、今後も多くの市民の参画により青少年健全育成運動を広げていく。</p>			
■重点事業（部で5事業まで）				
	施策コード		施策の内容	事務事業
	章	節 施策		
1	01	03 01	青少年育成体制の充実	青少年育成体制づくり事業
2	01	03 03	青少年活動の推進	青少年の居場所づくり事業
3				
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 教育総務部		
	節	4	社会の要請に応えた教育の環境づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心を持ち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にすまちとなっています。	基本目標	社会の要請に応えた教育の環境づくりが進み、市民の様々な社会教育に対するニーズが満たされています。家庭教育に関する学習機会が充実し、家庭の教育力が向上しています。
-------------------------	---	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 社会教育に関する講座数と参加人数	61講座 3,221人	—	—	—	—	65講座 3,250人	—	—	—	—	70講座 3,500人
	—	69講座 3,483人	65講座 3,613人	68講座 3,268人	65講座 2,663人						
② 家庭教育に関する講座数と参加者数	111講座 3,205人	—	—	—	—	120講座 3,250人	—	—	—	—	125講座 3,300人
	—	111講座 3,222人	111講座 3,193人	108講座 3,234人	108講座 3,042人						
③ 市民大学・市民大学院延べ卒業生数	326人	—	—	—	—	480人	—	—	—	—	600人
	—	372人	394人	417人	434人						
④ 図書館利用者数と貸出数	207,302人 427,317点	—	—	—	—	229,000人 454,000点	—	—	—	—	241,000人 477,000点
	—	217,624人 423,733点	216,459人 413,551点	204,678人 394,120点	191,009人 405,224点						
⑤		—	—	—	—		—	—	—	—	
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 社会教育活動の充実	49,205	2	1	1	0	社会教育課、社会教育課 公民館・図書館
2 社会教育活動の推進	11,438	3	2	1	0	社会教育課、社会教育課 公民館・図書館
3 家庭における教育の充実	1,543	1	1	0	0	社会教育課
4 社会教育環境の整備	84,907	3	0	2	1	社会教育課 公民館・図書館
5						
6						
7						
8						
9						
計	147,093	9	4	4	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	教育総務部
	節	4	社会の要請に応えた教育の環境づくり	評価者名	荒浪淳
評価主体が推進する施策の概要	<p>市民の学習意識を高め、学習活動を促進するために魅力ある市民大学・大学院事業を進めるとともに、生涯学習学校開放講座を通して、地域力の向上を図る。また、公民館の各種講座の充実を図り、社会教育活動の充実に努める。</p> <p>図書館では、資料の収集、整理及び保存により、市民への情報提供等に供し、市民の様々な学習要求に応えるとともに、生涯にわたり学べる環境づくりに努める。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>市民の学習活動を促進する上で、身近な学校を利用した生涯学習学校開放講座を開講した。また、公民館で開催する講座についても、多くの市民が参加して好評を得ている。市民大学、大学院では、市民と行政との協働によるまちづくりに取り組む人づくりが進み、審議会等に参画する学生・卒業生が増えた。図書館では、資料を収集、整理、保存して市民の様々な学習要求に応えるとともに、生涯にわたり学べる環境づくりに取り組んでいる。八條公民館・図書館では、指定管理者制度により、新規事業など、事業展開を図ることができた。</p>		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<p>公民館・図書館では、多くの市民から利用しやすい環境整備が求められており、施設設備の老朽化に対応する改修等が必要となっている。</p> <p>指定管理者制度を導入している八條公民館・図書館においては、管理業務の実施状況や利用状況などについて、随時確認する必要がある。</p> <p>市民大学・大学院については、さらに市民への理解と周知を図るなど、参加者を増やす方法を検討する必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	<p>市民大学・大学院事業をNPO法人と協働で実施するとともに、生涯学習学校開放講座及び公民館の各種講座等を開講して、社会教育活動の充実に努めた。</p> <p>八條公民館・図書館においては、新規事業が増えるとともに、民間事業者ならではの特色ある取り組みを図ることができた。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
	<p>(説明)</p> <p>市民の学習要望は多岐にわたるため、今後もアンケート等で学習ニーズの把握に努めながら柔軟に対応していく。</p> <p>図書館においては、情報等の提供だけではなく、子どもの読書活動推進法に基づく学校への出前講座や障がいのある人への録音資料等の提供を行っていく。</p> <p>指定管理者制度を導入した八條図書館・公民館においては、業務の実施状況などについて確認を行っていく。</p> <p>市民大学・大学院においては、生涯学習による人づくりを担い、市と協働したまちづくりに貢献できる市民の育成を目指す。</p>		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1	01 04 01	社会教育活動の充実	地域学習活動推進事業
2	01 04 02	社会教育活動の推進	市民大学・大学院運営事業
3	01 04 01	社会教育活動の充実	図書館情報提供事業
4	01 04 02	社会教育活動の推進	公民館運営事業
5	01 04 03	家庭における教育の充実	家庭教育推進事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 企画財政部	教育総務部
	節	5	人権を尊重する社会づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心を持ち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にすまちとなっています。	基本目標	家庭・学校・地域や職場等のあらゆる場において、人権教育についての学習機会や啓発活動が充実しており、市民一人ひとりの人権に対する意識の高揚が進み、差別や偏見のない明るいまちとなっています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 人権に関する研修、催事回数と参加者数	28回 3,051人	—	—	—	—	35回 3,500人	—	—	—	—	40回 4,000人
②	—	29回 3,249人	30回 1,268人	32回 3,304人	28回 3,100人	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 人権教育の推進	1,474	1	1	0	0	社会教育課
2 人権啓発の推進	3,134	2	2	0	0	人権・男女共同参画課、社会教育課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	4,608	3	3	0	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	企画財政部
	節	5	人権を尊重する社会づくり	評価者名	前田秀明
評価主体が推進する施策の概要	人権は全ての人間の尊厳に基づく固有の権利であることに鑑み、様々な人権問題に対し、啓発活動を通じて基本的人権の尊重、擁護と平等な社会の実現に努める。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	「八潮市人権施策実施計画」に基づき、市民、市職員、教職員等を対象にした様々な研修を実施するとともに、広報紙、市ホームページ等のほか、人権に関するイベントを実施して人権意識の高揚を図るための啓発活動を実施している。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	インターネットの普及により、誤った情報の拡散やSNSなどを通じた誹謗中傷などの人権侵害が行なわれるようになった。このため、正しい知識の普及がより重要となっている。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	人権を尊重する社会を実現するため、啓発活動、研修事業等を実施し、多くの市民が受講しているが、隔年で実施している人権意識調査の結果では、人権を侵害されることがあると回答している割合が前回調査（H29年度27.9%）より今回調査（R1年度-30.5%）の方が上昇してしまっている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
施策の展開方針	(説明)		
	<p>「部落差別の解消の推進に関する法律」、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」（いわゆる「ヘイトスピーチ解消法」）などの新たな法律を踏まえた「八潮市人権施策実施計画」に基づき、様々な啓発活動や研修を実施し、人権意識の高揚を図り、差別のない社会を実現する。</p> <p>第5次八潮市総合計画の見直しに合わせて、新たな法律を踏まえた八潮市人権施策推進指針の見直しも実施する。</p>		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1			
2			
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	●教育総務部	企画財政部
	節	5	人権を尊重する社会づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心を持ち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にすまちとなっています。	基本目標	家庭・学校・地域や職場等のあらゆる場において、人権教育についての学習機会や啓発活動が充実しており、市民一人ひとりの人権に対する意識の高揚が進み、差別や偏見のない明るいまちとなっています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 人権に関する研修、催事回数と参加者数	28回 3,051人	—	—	—	—	35回 3,500人	—	—	—	—	40回 4,000人
②	—	29回 3,249人	30回 1,268人	32回 3,304人	28回 3,100人	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 人権教育の推進	1,474	1	1	0	0	社会教育課
2 人権啓発の推進	3,134	2	2	0	0	人権・男女共同参画課、社会教育課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	4,608	3	3	0	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	教育総務部
	節	5	人権を尊重する社会づくり	評価者名	荒浪淳
評価主体が推進する施策の概要	<p>学校、企業及び関係機関と連携を図り、様々な機会を捉えて人権教育を積極的に展開し、人権意識の高揚に努める。また、人権問題について市民一人ひとりが正しく理解し、認識を深めるよう講演会等を開催したり、広報活動を充実して人権啓発を積極的に進める。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)	<p>障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律や部落差別の解消の推進に関する法律など、人権に関わる法整備が進む中、八潮市人権教育推進協議会と連携して人権教育に取り組むとともに、人権教育や同和教育指導者養成の講座を実施した。また、人権標語や作文を児童生徒から募集し、公共機関や金融機関に掲示して広く人権啓発に努めた。</p>		
	課題	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある	<p>一人ひとりが個人として尊重される社会を継続的に実現するため、あらゆる機会を捉え、人権教育及び人権啓発を実施する必要がある。</p>	

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	人権教育及び人権啓発を継続して実施することができ、市民の意識の高揚が図れた。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 → <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律や部落差別の解消の推進に関する法律などの人権に関する法律を踏まえ、家庭、学校、地域、職場など、あらゆる場を通して、人権教育の学習機会の拡大を図るとともに、多様な広報媒体を活用した啓発活動の充実を努める。</p>

重点事業（部で5事業まで）

	施策コード			施策の内容	事務事業
	章	節	施策		
1	01	05	01	人権教育の推進	人権教育推進事業
2	01	05	02	人権啓発の推進	人権啓発事業
3					
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 企画財政部		
	節	6	平和な社会づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心を持ち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にすまちとなっています。	基本目標	市民が平和で穏やかな生活を営み、子どもたちが夢や希望を抱き、次の世代に平和の尊さが語り継がれているやすらぎに満ちたまちになっています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標										
	実績										
① 平和施設見学会実施回数（毎年）	1回	－	－	－	－	1回	－	－	－	－	1回
②	－	1回	1回	1回	1回						
③	－	－	－	－	－						
④	－	－	－	－	－						
⑤	－	－	－	－	－						

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 平和教育の推進	108	1	1	0	0	人権・男女共同参画課
2 平和意識の高揚	0	1	1	0	0	人権・男女共同参画課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	108	2	2	0	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	企画財政部
	節	6	平和な社会づくり	評価者名	前田秀明
評価主体が推進する施策の概要	平和の尊さを未来を担う次の世代に引き継いでいくため、平和推進に関する啓発活動を行う。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> 小学生を対象に平和施設見学会を開催し、その体験を通じて平和への意識向上を図る。 平和パネル展、原爆パネルを開催して、次世代に平和の尊さの継承を図る。 		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	平和施設見学会は参加者の満足度は高いものの、近年参加申込みが減少傾向にある。参加者を増加させるための手法についての検討が必要となってきた。 平和事業は平和施設見学会及びパネル展を実施しているが、新たな事業について検討が必要な時期にきている		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	参加者の減少や事業の拡充などの課題はあるものの、現在実施している平和施設見学会やパネル展などは高い満足度を得ている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																							
	(説明) 平和施設見学会やパネル展のほかに、より啓発効果の高い事業を検討しながら、事業を継続する。 平和都市宣言10周年などの時期を捉えて、平和体験を伝えるイベントを検討する。																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1						2						3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1																																								
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 市民活力推進部	教育総務部
	節	7	個性あふれる豊かな市民文化づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心を持ち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にすまちとなっています。	基本目標	個性あふれる豊かな市民文化と豊かな人間性が生まれ、新しい文化活動が創造されています。また、市民が地域やまちの歴史に愛着をもち、次の世代に地域の伝統文化を伝えているまちになっています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値 計画・目標	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 市民文化推進に関する講座数と参加者数	14講座 1,806人	—	—	—	—	20講座 2,000人	—	—	—	—	25講座 2,500人
	—	12講座 849人	11講座 873人	13講座 1,017人	13講座 1,175人	—	—	—	—	—	—
② 郷土の歴史・文化に関する講座数と参加者数	51講座 8,340人	—	—	—	—	55講座 9,000人	—	—	—	—	60講座 10,000人
	—	61講座 7,029人	72講座 7,346人	68講座 5,397人	58講座 5,580人	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 文化活動の推進	4,379	3	0	3	0	市民協働推進課、社会教育課 公民館・図書館、文化財保護課
2 文化施設の充実	105,183	3	0	3	0	市民協働推進課、文化財保護課
3 文化財保護事業の推進	1,747	2	1	1	0	文化財保護課
4 郷土の歴史・文化普及事業の推進	15,169	2	1	1	0	文化財保護課
5						
6						
7						
8						
9						
計	126,478	10	2	8	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	7	個性あふれる豊かな市民文化づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	(1) 文化活動の推進：文化イベントや文化施設での講座を充実するとともに、アウトリーチ活動による施設外でのイベントを開催し、文化芸術にふれる機会を充実する。 (2) 文化施設の充実：施設の充実や有効利用、相互の連携を強化する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	(1) 文化芸術にふれる機会として、講座やコンサート等の自主事業を実施し、メセナ本館では100,182人、アネックスでは30,915人の施設利用があった。 (2) メセナ本館施設の充実のため、1箇所の工事を行い、21箇所の改修を行った。また、健康増進法の改正に対応するため、テラスを改修し喫煙スペースを設置した。		
課題	課題はほとんどない	ある程度課題がある	● 大きな課題がある
	・八潮市民文化会館については、開館以来29年が経過し、建物・設備の老朽化が顕著である。保全計画に基づき計画的な修繕が必要である。 ・八潮市民文化会館駅前分館については、効率的な職員配置を検討するとともに、自主事業の実施や展示等の開催など、施設の効果的な活用についても検討する必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	八潮市民文化会館・八潮市民文化会館駅前分館では、文化芸術に触れる機会の充実を図るため、定期的にクラシックコンサートを開催するなど、多くの市民に利用されている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進			
施策の展開方針	(説明)			
	・八潮市民文化会館では地域に根ざした文化活動の一環として、カジュアルなクラシックコンサートを実施している。今後は、市民が音楽を身近に感じられるよう、市内の様々な場所で演奏を楽しめる機会を提供していく。 ・八潮市民文化会館は、引き続き安全で安心な施設運営を目指し、保全計画に基づいた改修工事を実施する。また、八潮市民文化会館駅前分館については、施設の有効活用を引き続き検討する。			
■重点事業（部で5事業まで）				
	施策コード		施策の内容	事務事業
	章	節 施策		
1	01	07 02	文化施設の充実	八潮市民文化会館施設管理事業
2				
3				
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	●教育総務部	市民活力推進部
	節	7	個性あふれる豊かな市民文化づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心を持ち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にすまちとなっています。	基本目標	個性あふれる豊かな市民文化と豊かな人間性が育まれ、新しい文化活動が創造されています。また、市民が地域やまちの歴史に愛着をもち、次の世代に地域の伝統文化を伝えているまちになっています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 市民文化推進に関する講座数と参加者数	14講座 1,806人	—	—	—	—	20講座 2,000人	—	—	—	—	25講座 2,500人
	—	12講座 849人	11講座 873人	13講座 1,017人	13講座 1,175人	—	—	—	—	—	—
② 郷土の歴史・文化に関する講座数と参加者数	51講座 8,340人	—	—	—	—	55講座 9,000人	—	—	—	—	60講座 10,000人
	—	61講座 7,029人	72講座 7,346人	68講座 5,397人	58講座 5,580人	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 文化活動の推進	4,379	3	0	3	0	市民協働推進課、社会教育課 公民館・図書館、文化財保護課
2 文化施設の充実	105,183	3	0	3	0	市民協働推進課、文化財保護課
3 文化財保護事業の推進	1,747	2	1	1	0	文化財保護課
4 郷土の歴史・文化普及事業の推進	15,169	2	1	1	0	文化財保護課
5						
6						
7						
8						
9						
計	126,478	10	2	8	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	教育総務部
	節	7	個性あふれる豊かな市民文化づくり	評価者名	荒浪淳
評価主体が推進する施策の概要	文化に関わるイベントや講座を充実させるとともに、地域や市民生活に根ざした文化活動を支援し、文化団体の育成を図る。文化財調査を進め、新たな文化財の指定・登録に努めるとともに、既存文化財の普及啓発事業及び整備支援を行う。また、収蔵資料や市の歴史、文化を紹介する企画展等を開催し、市民の地域の歴史や文化遺産への関心を高める。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	八潮市文化協会との連携により、書道展、美術展、音楽祭、文化祭等、各種文化活動を行った。文化財保護関係では、市内に伝わる歴史資料や文化遺産を後世に継承するため、調査及び保存に努めるとともに、市内の文化財に対する理解を深めてもらうために文化財めぐりや文化財解説板の更新などを行った。また、企画展及び季節展示を計4回行い、延べ4,356人の参観者を得られた。		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	八潮市文化協会が中心となった文化活動において、市民意識の醸成が必要となっている。文化財保護関係では、文化財所有者・保持団体等で、文化財保存のために抱える課題は様々であるため、実情に合わせたきめ細やかな対応を行い、支援制度の活用につなげてもらう必要がある。また、歴史や文化遺産への理解を深めてもらうため、文化財愛護団体等と連携し、文化財の普及啓発と活用事業に努めていく必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	八潮市文化協会の加入団体の連携により、各種文化活動が実施できた。文化財保護関係では、文化財めぐりや文化財解説板の更新などを行ない、市内の文化財に対する理解を深めてもらうことができた。また、企画展及び季節展示、資料活用事業、歴史講座などもほぼ順調な観覧者・参加者を得られた。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
施策の展開方針	(説明)		
	八潮市文化協会の加入団体間の更なる連携を図り、市民の文化活動を促進する。文化財保護関係では、さらに文化財の調査を進め、保護に努めるとともに、企画展等を開催して市民への周知を図る。また、民俗行事や伝統芸能の継承・発展につなげるため、伝統芸能等への振興事業、活動支援を行っていく。		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1	01 07 02	文化施設の充実	資料館運営事業
2	01 07 04	郷土の歴史・文化普及事業の推進	郷土の歴史・文化普及事業
3	01 07 03	文化財保護事業の推進	文化財保護充実事業
4	01 07 04	郷土の歴史・文化普及事業の推進	収集資料保存・活用事業
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 市民活力推進部		
	節	8	ふれあいと連帯感にみちた地域社会づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心もち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にすまちとなっています。	基本目標	町会・自治会をはじめ、ボランティア団体やNPO※等が、地域コミュニティ活動を主体的に展開しながら、まちづくりに取り組んでいます。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 町会・自治会等の地域活動への参加率	32.60%	—	—	—	—	41%	—	—	—	—	48%
	—	20.4%	—	—	17.1%						
② ボランティア・市民活動団体登録数	201団体	—	—	—	—	260団体	—	—	—	—	310団体
	—	222団体	235団体	229団体	225団体						
③ NPO法人登録数	16団体	—	—	—	—	20団体	—	—	—	—	25団体
	—	22件	22件	22件	21件						
④ 日本語ボランティアの登録者数	26人	—	—	—	—	45人	—	—	—	—	56人
	—	36人	34人	34人	44人						
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 コミュニティ活動の推進	24,651	3	1	2	0	市民協働推進課
2 コミュニティ環境の整備	32,012	2	1	1	0	市民協働推進課
3 外国籍住民との交流の推進	2,936	1	0	1	0	市民協働推進課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	59,599	6	2	4	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	8	ふれあいと連帯感にみちた地域社会づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	(1) コミュニティ活動の推進：町会自治会、ボランティア団体、NPO等の地域コミュニティと様々な情報交換を行い、協働で事業を展開し、活動への参加を促すことで各地域コミュニティの活性化を促進する。 (2) コミュニティ環境の整備：コミュニティ施設の整備及び修繕等への支援をする。 (3) 多国籍住民との交流の促進：ボランティア団体等と連携し、研修会やイベント等を開催し多国籍住民との交流を促進する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	町会自治会連合会や各町会自治会、コミュニティ協議会に各種補助金を交付し、コミュニティ活動への参加と活性化を促進する事業を実施した。また、3月から4月の加入促進月間や市民まつりで町会活動のPRを行うとともに、外国人住民に対し地域活動への理解を促すため、タガログ語版加入チラシを作成した。 多文化交流活動推進のため、実行委員会との協働で国際交流フェアを開催した。また、多文化共生推進プラン策定の参考資料とするため、外国人市民に対してアンケート調査を実施した。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<ul style="list-style-type: none"> 町会自治会と連携して加入率の向上に努める必要がある。 やしお生涯学習館内に設置されている市民活動支援コーナーの運営にあたっては、様々な相談等に適切に対応する、コーディネーターの養成に向けた取組みを行う必要がある。 外国人市民の増加に伴い、言語や生活習慣の違いにより地域におけるトラブルの増加が懸念されることから、日本人市民と外国人市民が互いに認め合い共生できるまちづくりが求められている。 コミュニティセンターについては、計画的な改修が必要である。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	町会自治会等の地域活動への参加率については、市民意識調査結果では17.1%と低い数値だが、ボランティア等の活動団体数やNPO法人登録数は一定の数値を保っており、国際交流フェスティバルの開催や多言語版の加入チラシの作成やPR、市民活動支援コーナーにおける事業も充実してきている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																
施策の展開方針	(説明) <ul style="list-style-type: none"> 町会自治会の加入率向上を図るため、引き続き町会自治会への支援を行うとともに、集合住宅等へ町会自治会設立や加入を働きかけていく。 やしお生涯学習館内に設置されている市民活動支援コーナー機能の充実を図る。 多文化共生推進プランを策定し、これまで以上に日本語の学習支援や行政情報の多言語化、外国人市民との交流事業などに取組み多文化共生を推進していく。 																																
	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																
重点事業（部で5事業まで）																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">章</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>01</td> <td>08 01</td> <td>コミュニティ活動の推進</td> <td>コミュニティ意識高揚事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>01</td> <td>08 01</td> <td>コミュニティ活動の推進</td> <td>市民活動支援事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>01</td> <td>08 03</td> <td>外国籍住民との交流の推進</td> <td>多文化交流活動支援事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	章	施策コード		施策の内容	事務事業	節	施策	1	01	08 01	コミュニティ活動の推進	コミュニティ意識高揚事業	2	01	08 01	コミュニティ活動の推進	市民活動支援事業	3	01	08 03	外国籍住民との交流の推進	多文化交流活動支援事業	4					5				
章	施策コード		施策の内容	事務事業																													
	節	施策																															
1	01	08 01	コミュニティ活動の推進	コミュニティ意識高揚事業																													
2	01	08 01	コミュニティ活動の推進	市民活動支援事業																													
3	01	08 03	外国籍住民との交流の推進	多文化交流活動支援事業																													
4																																	
5																																	

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 企画財政部		
	節	9	男女がともに育む社会づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心を持ち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にすまちとなっています。	基本目標	男女が互いに尊重し合い、性別に捉われることなくあらゆる分野で活躍できるまちとなっています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 審議会への女性の登用率	31.20%	—	—	—	—	35%	—	—	—	—	40%
	—	30.5%	31.3	33.8	33.1						
② 相談体制の充実	週3日	—	—	—	—	週4日	—	—	—	—	週5日
	—	週4日	週5日	週5日	週5日						
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 男女共同参画の促進	235	1	0	1	0	人権・男女共同参画課
2 相談体制等の充実	3,800	1	1	0	0	人権・男女共同参画課
3 男女平等意識の高揚	153	1	1	0	0	人権・男女共同参画課
4 仕事と家庭・地域生活の両立	0	1	1	0	0	人権・男女共同参画課
5						
6						
7						
8						
9						
計	4,188	4	3	1	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	企画財政部
	節	9	男女がともに育む社会づくり	評価者名	前田秀明
評価主体が推進する施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次八潮市男女共同参画プランの基本理念である「誰もが自分らしく、輝いて暮らせるまち」を目指す。 ・政策、方針などの決定の場への女性の登用率の向上を図る。 ・女性に対する暴力の防止を啓発し、被害者支援体制の充実を図る。 ・仕事と家庭・地域生活の両立を目指すため、ワーク・ライフ・バランスの推進を啓発する。 				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次八潮市男女共同参画プランに基づき、男女共同参画社会の実現に向け、各種啓発事業を実施した。 ・DV被害者の早期発見、支援のため、「女性相談」や「DV相談」を実施し、さまざまな悩みを持つ女性の支援に努めた。 		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会等委員における女性の登用については、増加しつつあるが、目標値には達していない。女性委員ゼロの審議会等もあり、各選出団体等に対し、女性委員の推薦についての理解を得る必要がある。 ・パートナーシップ認証制度の導入を求める声が大きくなってきており、その必要性についての検討が必要になってきている。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	課題はあるものの、第4次八潮市男女共同参画プランで掲げた数値目標について一定の成果は出ているため概ね順調とする。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
施策の展開方針	(説明) 令和2年度は第4次八潮市男女共同参画プランの見直しを実施することとなっているため、計画の上半期5年間の実績を踏まえ、必要な施策の検討や数値目標の修正等を検討する。		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
1	章 節 施策		
2			
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）
☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

